

平成27年4月23日

平成27年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第1回 4月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)
TEL 087-843-6511 / FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年、平年より多く出現した。(4月下旬の平年値:3.0個/m³)

前年	平成26年4月17日	(17点の平均)	0.9 個/m ³
前回	平成27年4月2日	(7点の平均)	0.0 個/m ³
今回	平成27年4月22日	(17点の平均)	12.5 個/m ³

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

今年は4月下旬に仔魚が出現した。(4月下旬の平年値:0尾/m³)

前年	平成26年4月17日	(17点の平均)	0.0 尾/m ³
前回	平成27年4月2日	(7点の平均)	0.0 尾/m ³
今回	平成27年4月22日	(17点の平均)	0.2 尾/m ³

○プランクトン調査

プランクトン量では、ノクチルカ(夜光虫)、リゾソレニアが多かった。
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は0.25mL/m³で同時期平年値
(0.20mL/m³)と同程度であった。

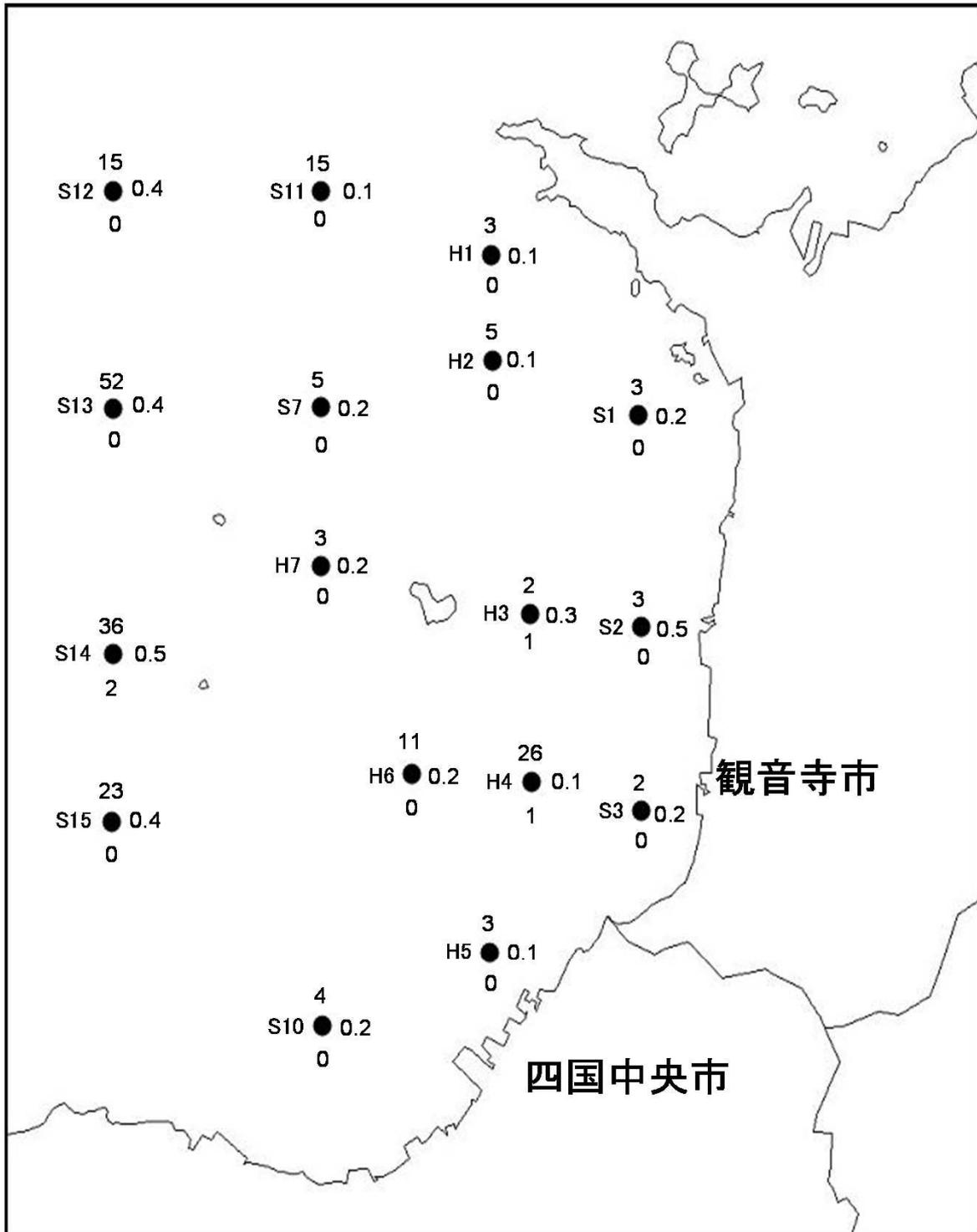
卵が平年よりも多めに出現したことについては、調査日が平年よりやや遅い事が影響している可能性や、親魚密度自体が高い可能性が考えられる。

次回の調査は4月30日(木)の浅定調査に合わせて実施予定

※今年度から、卵稚仔採集数の記載を、

1曳網当たりから、海水1m³(≒1トン)あたりに変更しました。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2015/4/22)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m³を、
 下側がカタクチイワシ稚仔数/m³を、
 右側がカイアシ類量(ml/m³)を示す。
 ※カイアシ類量は、プランクトン採集量
 (0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

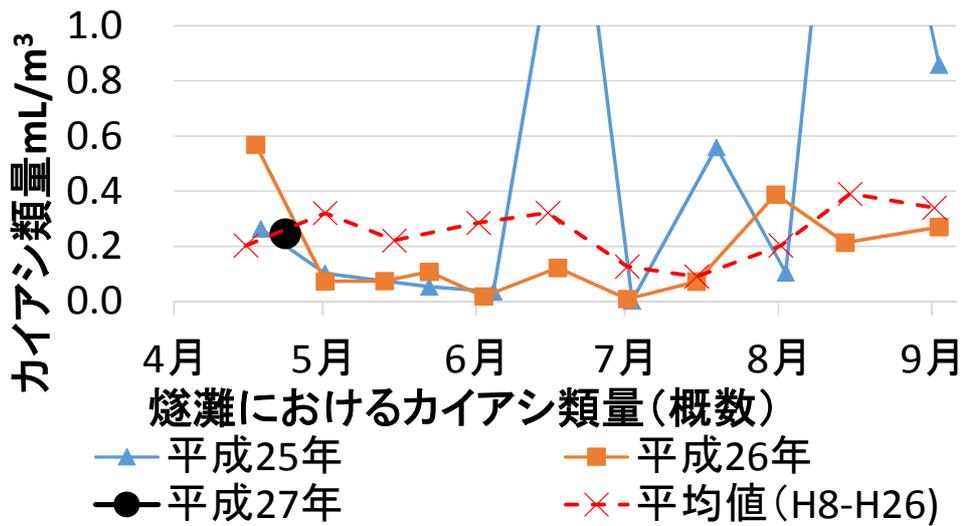
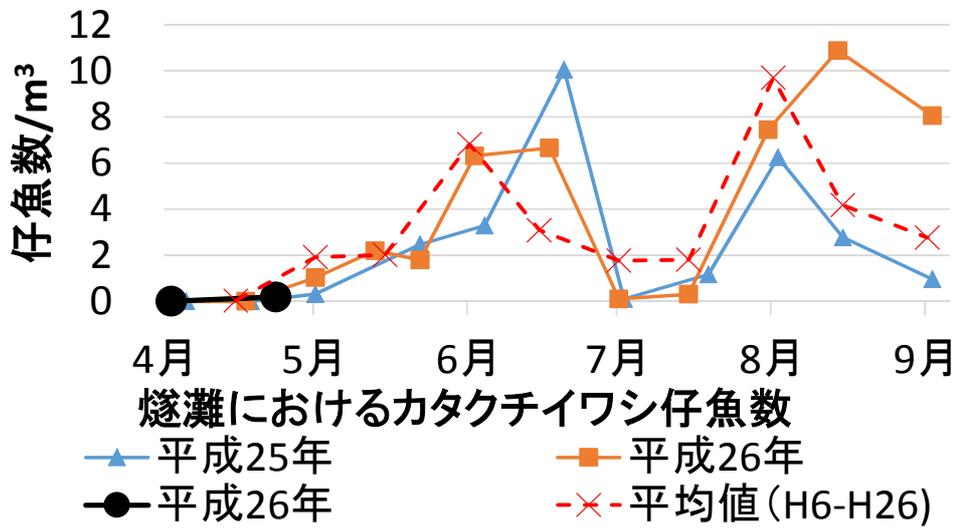
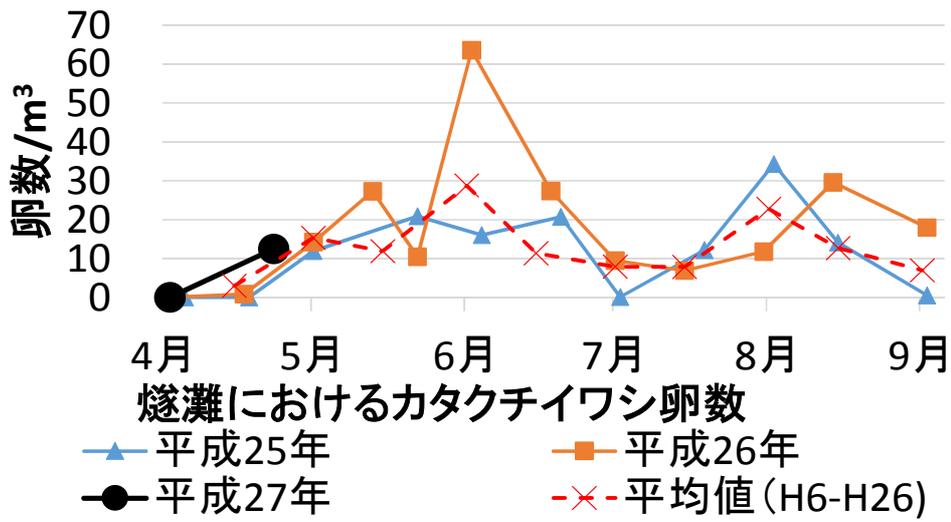
21 ← 卵数
 凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量
 5 ← 稚仔数

平成27年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(1回目)

調査日: 2015/4/22

S T	曳網水深 (m)	表水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	15.9	3	0	1	0	0	0
H2	20	15.6	5	0	1	0	0	0
S1	20	15.9	3	0	1	0	0	0
S2	20	15.6	3	0	0	0	0	0
H3	20	15.6	2	0	1	1	0	0
S3	20	16.1	2	0	4	0	0	0
H4	20	15.4	26	0	2	1	0	0
H5	20	15.0	3	0	0	0	0	0
S10	20	14.7	4	0	3	0	0	0
H6	20	14.7	11	0	1	0	0	0
H7	20	14.2	3	0	2	0	0	0
S7	20	14.1	5	0	1	0	0	0
S11	20	14.4	15	0	2	0	0	0
S12	20	13.9	15	0	1	0	0	0
S13	20	13.7	52	0	1	0	0	1
S14	20	13.8	36	0	3	2	0	0
S15	20	14.7	23	0	0	0	0	0
7点平均		15.2	8	0	1	0	0	0
平均		14.9	12	0	1	0	0	0

※なお7点平均は浅海定線調査を行っているH1～H7の平均 ※採集数はm³当たりの数



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。